

# Project class

## 平成29年度プロジェクト授業 「リノベーション演習B」

富山大学芸術文化学部准教授 横山 天心

### ■ 課題主旨

末広西地区プロジェクトは、末広西地区暮らし・賑わい再生事業として、高岡市とセブンラック協議会による官民協同プロジェクトであり、98世帯の住戸が入る高層棟（16階建）と、商業施設と公益施設（べっぴんサロン）が入る低層棟（2階建）が計画されている（図1）。この授業では、低層棟の2階のべっぴんサロンの内装の基本設計と、べっぴんサロンに面する屋上広場とそれに至るアプローチ空間の活用提案を行った。設計・提案は主として建築デザインコースの学生と芸術文化キュレーションコースの学生の混成3チーム（A、B、C班）で行い、建築デザインコースの学生が基本設計を、芸術文化キュレーションコースの学生が活用計画を主導した。本プロジェクトの施主であるセブンラック協議会は、べっぴんサロンの移転に伴い、従来の活動に加え、より商店街や周辺地域の活性化に寄与するため、内外一体となった新しい利用計画とそれにふさわしい内装を求めている。芸文の学生らしい柔軟かつ斬新なアイデアで末広地区を一新するような提案が期待された。また、施設デザインについて、周辺商店街での施設のあり方や新たな利用方法について、それぞれ、上原雄史教授、安嶋是晴講師にア



図1. べっぴんサロンが入居する低層棟の外観イメージ

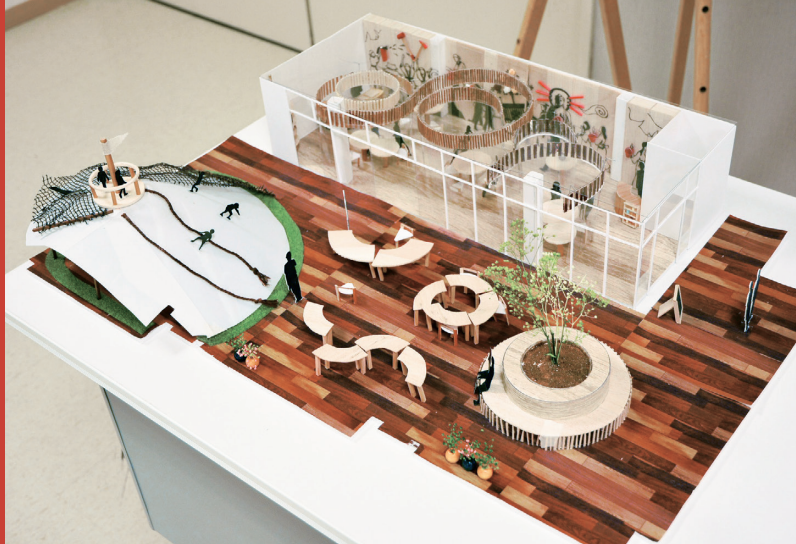


写真1. A班最終模型

ドバイザーとしてご参加いただき、授業の要所要所のエスキース時に的確なアドバイスをして頂いた。

### ■ 中間発表会

敷地及び周辺の調査・分析、2回のエスキースを経て、3月13日に行われた中間発表会では、セブンラック協議会のメンバーに加え、芸文一期生であった瀬戸真理子氏をゲスト講師に招聘し、各チームの提案に対しアドバイスを頂いた。



写真4. 中間発表会 講評風景

### ■ 学内講評会

中間発表でのアドバイスを取り入れながら、2回のエスキースを経て、3月27日に行われた学内講評会では、セブンラック協議会のメンバーに加え、香川貴範氏をゲスト講師に招聘し、各チームの最終案に対しアドバイスを頂いた。



写真5. 学内講評会 講評風景



写真 2. B 班最終模型



写真 3. C 班最終模型

## ■ 公開プレゼンテーション

学内講評会でのアドバイスを取り入れながら、公開プレゼンテーションに向けて最終案のブラッシュアップが行われた。公開プレゼンテーションは4月21日15時から大和6階のフリースペースにて行われ、審査員と60名程度の聴講者の前で、模型・パネル展示をもとに各チームの熱のこもったプレゼンテーションがなされた。審査は上原雄史教授、安嶋是晴講師、横山に加え、高橋正樹高岡市長、タカラレーベン担当者、都市設計連合担当者、セブンラック協議会委員3名にゲスト審査員としてご参加いただいた。厳正な審査の結果、最優秀賞はBチーム、優秀賞はAチーム、審査員特別賞はCチームとなった。

### Aチーム 「結びと移ろい」

天井に設置された曲線のカーテンレールにより、使用用途によって自由に空間を仕切れる提案で、防災グッズも高岡の特徴を表現した壁面の装飾要素として活用され、実現性を考慮したバランスの良い提案であった。

### Bチーム 「大きなテーブルのもとで」

巨大なテーブルを天井から吊り下げ、それを上下させることで、空間の使い方にフレキシビリティをもたらす提案で、棚やハンガーラック、プランターなどを防災グッズを本来の使い方とは異なるやり方で積極的にインテリア化していた点が高く評価された。

### Cチーム 「今日の気分に、今日の場所」

内外を問わず床面に凹凸をつけることで、テーブルや椅子、ベンチ、階段、棚などして利用できる段差が生じ、利用者が各々その段差を発見的に利用してもらう提案自体は高く評価されたが、予算や床の段差の施工性など実現性への配慮が必要とされた。

当初、最優秀賞に選ばれたB班の案をベースに実施設計が行われ、平成31年の3月に竣工する予定であったが、商店街組合の予算の都合により、竣工後に徐々にインテリアを変えていくこととなった。



図 2. A 班 イメージパース

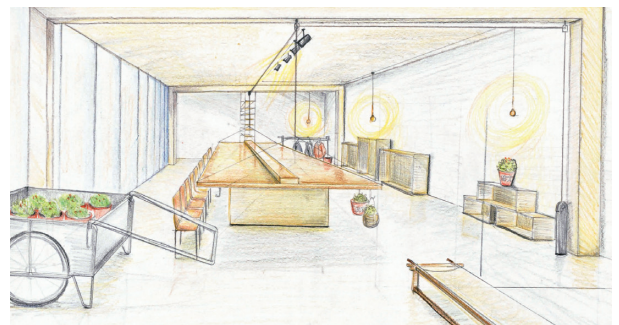


図 3. B 班 イメージパース



図 4. C 班 イメージパース



写真 6. 公開プレゼンテーション 講評風景